

業ヲ擴張ニ或ハ甲部ノ殘金ヲ以乙部ノ不足ヲ補ヒ
彼此流用スルハ實際當使事業上不得止儀ニ付定額
御渡年限中ハ伺ヲ經ス後前ノ通適宜流用支辨仕度
候條速ニ御允許相成度此段相伺候也

明治十三年八月廿六日

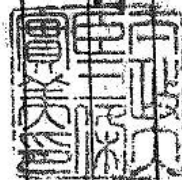
開拓長官黑田清隆



太政大臣三條實美殿

同趣難間屆事

明治十三年十二月二十八日



別紙火災ノ件上申方儀ハ御伺出ノ通ニテ可然
候條此旨申入候也

明治十三年八月廿八日 内閣書記官

開拓書記官

御中

甲第貳拾八号

火災上申ノ義ニ付伺

當使管内火災上申ノ義従来拾戸以上延焼ノ節其都
度上申致候處追々戸口増殖候ニ付格別ノ延焼ニ
ラサル外ハ自今上申不致様仕度此段相伺候也

明治十三年八月廿六日

開拓長官黒田清隆



太政大臣三條實美殿

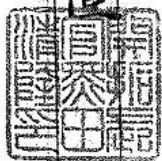
甲 第三拾號

米國前大統領カランド牡馬寄贈報謝ノ義伺
先般米國前大統領カランドヨリ牡馬壹頭寄
贈相成候ニ付

天覽ニ供シ候處北海道馬種改良ノ用ニ給スヘキトノ
趣旨ニ付渡島國七重官園ニ於テ養育セシメ候就テハ
右報謝トシテ九金千四兩ニ當ル物品當使定額内ヨリ
支弁差送度候條至急御允裁相成度此段相伺候也

明治十三年九月十八日

開拓長官黒田清隆



太政大臣三條實美殿